

次の文章を読んで、後の問いに日本語で答えよ。

著作権保護のため、ウェブ公開版では問題文を削除した。  
(本文は縦書き、40字×35行)

(田中貴子『鈴の音が聞こえる——猫の古典文学誌』による)

問一 傍線部ア～オの漢字を平仮名に直せ。(15点)

問二 空欄①にあてはまる慣用句を次から選べ。(7点)

- ア 猫の額のように      イ 猫の目が変わるように  
ウ 光陰矢のごとし      エ 電光石火のごとく

問三 空欄②・③にあてはまる接続詞を、それぞれ次から選べ。(10点)

- ア つまり      イ そこで      ウ また      エ しかし      オ あるいは

問四 波線部 a 「ほとんどくはない」、b 「くばかりだった」を用いて、それぞれ短文を作成せよ。(14点)

問五 傍線部 A 「この話」とはどのような話なのか、分かりやすく説明せよ。(9点)

問六 傍線部B「その印象が昔とあまりに変わっているのに驚いた」とあるが、どのように変わっていたのか具体的に説明せよ。(10点)

問七 空欄④にあてはまる語句を次から選べ。(6点)

- ア 時代に生きた    イ 白と黄色の    ウ 島津家の  
エ 猫神として祀られた    オ 勝手気ままな

問八 傍線部C「主君」とあるが、誰のことか。本文中から抜き出して答えよ。(6点)

問九 傍線部D「けなげ」にふさわしい事例を次から選べ。(8点)

- ア マラソン大会で一着になり、みんなに自慢した。  
イ 貧しい日々の中、笑顔を絶やさず懸命に働いた。  
ウ 思い切って好きな人に告白したが、きっぱり断られた。  
エ 高度成長期においては、使い捨てが美德とされた。  
オ 彼女は美人だが、それを少しも鼻にかけずにいる。

問十 あなたがこれまでの旅行先で見たり聞いたりした「魅力的」な物事について、詳しく述べよ。(15点)